



健康維持のため積極的に健診を受けましょう

健康づくりは 予防から



◆国保特定健診の受診拡大を
健康項目に心電図・眼底
検査など追加の考えは。(山口)

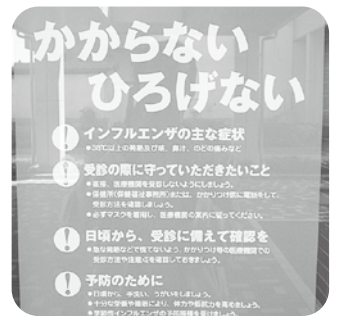
市では人工透析・糖尿病
等の血液検査項目を独自に追
加しているが、医師会と相談
し検討していく。

◆市民の健康について

国保特定健診の実施率と
保健指導の状況。(中原巳)

昨年導入され初年度計画
目標35%には届かなかった。
21年度については計画目標値
40%に近づいている。昨年度
休日健診や託児、本年度夜間
健診を取り入れ工夫している。
特定保健指導は目標値を大き
く上回る実施率である。

高齢者の肺炎球菌ワクチ
ン接種は有効のようであるが
市内の状況は。(中原巳)



「かからない」対策

平成19年度市内の肺炎で
亡くなった方の92%が75歳以
上の高齢者であった。高齢者
の健康、医療費削減にも繋が
るので季節性インフルエンザ
の予防接種との関連も含め医
師会の予防接種委員会と相談
しながら検討したい。

◆予防接種の公費助成を

高齢者の肺炎予防にワク
チンが有効であるが実施する
考えはどうか。(山口)

高齢者の健康管理は大切
であるので今後検討していく。

小児の命を守る為ヒブワ
クチン接種は有効性が高いが
3万円と高価である。接種補
助の予定はどうか。(山口)

ヒブとは細菌性髄膜炎で
あり風邪と区別がつきにくく
治療が難しい。5%が命にか
わり25%に障がいが残って
しまう。任意の予防接種であ
るが検討していく。

◆新型インフルエンザ対策

保育園が休園になった場
合、昨今の雇用情勢から親は

仕事を休みづらいが対応は考
えているか。(中村)

保護者アンケートを5月
に実施し、保育する人がいな
い世帯は246世帯、緊急保育を
希望する世帯は72世帯であっ
た。最小限の緊急保育は必要
であり、一部の園の場合は、
近隣の園で対応し、市全域に
広がった場合は、園を特定し、
優先順位を付けて受け入れる。

子どもたちの 健やかな 成長を



◆子育て支援の方向は

塩尻市の子育て支援の特
徴と今後の課題は。(鈴木)

こども教育部で、0〜18
歳の子どもの問題に対応。幼
保小連携の元気っ子応援事業、
病児保育、ショートステイ事
業等進めている。有害図書自



市は、新型インフルエンザ緊急対応について5月に家庭保育調査を実施



子育て支援の取り組み
(離乳食学習のびよびよ教室)

販機は条例設置後ゼロとなっ
た。子育てアンケートでは、
子育てと仕事の両立への支援、
経済的支援拡充等の要望がよ
せられている。家庭、地域、
企業などとも連携した取り組
みを進めていく。

◆子どもを守る条例制定へ

子どもの権利、教育環境
を守る条例の検討を。(永田)

条例の制定により、成果
が上っている自治体もあり、
研究、検討していく。

◆不登校の実態と対策は

今回報道された不登校児
童・生徒数の結果から、県は、
現在の対策を見直す方向のよ
うだが市の考えは。(今井)

市では、不登校の予防、
早期発見、早期対応し、実態
を把握し相談、アドバイス等
に取り組んでいる。学校への
登校が不可能な児童・生徒に
中間教室を開設し、登校に向
けた支援活動を行っている。